神奈川県議会議員 西村くにこ

県政報告

発行：2025年3月

［プロフィール］2011年神奈川県議会（川崎区）に初当選。現在、４期目。防災警察常任委員会／予算委員会／公明党神奈川県議団副団長／社会福祉法人川崎いのちの電話評議員／防災士／骨髄バンクドナー登録説明員／認知症サポーターキャラバンメイト／こころサポーター（メンタルヘルス普及促進）／心のバリアフリー推進員（障害者理解促進）／保護司



ホームページ
http:// 西村くにこ .com/

Facebook
https://www.facebook.com/nishimura.kuniko

▲ホームページ　▲ Facebook

令和6年度の質疑結果の一部をご報告します！県議会報告

声をカタチに

３月１２日から４日間開催された神奈川県議会予算委員会。私は３日間、質疑に立ちました。令和７年度当初予算や２月補正予算には、これまで議会で提案させていただいたものが数多く計上されています。改めてその一部をご紹介します。

災害用トイレカーを整備

避難所の生活環境の向上に有効なトイレカーを１０台導入。県内での局所災害に迅速に投入するとともに、大規模災害時は全国の自治体間での相互応援体制の確立も目指します。１０台装備は全国最多。昨年６月の防災警察常任委員会で質疑、提案しました。

＃７１１９にＬＩＮＥ機能

「救急車を呼んだ方がいいのか」「今すぐ病院に行った方が良いのか」電話でアドバイスを受けることができる「かながわ救急相談センター＃７１１９」。８年越しの取組が実り、昨年１１月に全県展開が実現。利用件数は３か月で約１０万件にのぼります。２０２３年１２月の代表質問では、実施後の展開として①小児医療への対応と②デジタル技術を活用した「つながる体制」の構築を求めていました。令和７年はLINE機能でも相談できるようになります。（１１月実施予定）。また、小児に関しては、先行して「かながわ子育てパーソナルサポート（ＬＩＮＥ）」からつながる体制が取られています。

かならいんの充実・強化

かながわ性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター「かならいん」の相談・支援を充実させるため「かながわ性被害相談ＬＩＮＥ」の相談日が拡充（週４日）。医療機関の受診等、被害者への付き添い支援も経験豊富な専門員を配置して体制を強化。子どもの性犯罪被害をなくすため、子どもに対する「自身の身を守るための情報や知識、スキルを習得する取組」については、県内小学４年生へのリーフレットの配布や教職員への研修が実施されます。これらは昨年６月の防災警察常任委員会で求めていたことです。また、昨年１２月の代表質問で提案した「かならいんにおける証拠採取の拡充」については、本年２月、新たに専門知識を有する看護師を配置した協力病院１院が追加されました。

電話相談　＃８８９１（はやくワンストップ）

かながわ性被害相談 LINE